

北見工業大学複合型豪雨災害研究ユニット

報 告 会

豪雨災害増加への対応策立案に向けた取り組み
地域社会の安全安心のために



平成 28 年 8 月に北海道を襲った台風による被害の原因究明及び対応に
対して、本研究ユニットでは農業を基盤とする地域特性及び寒冷地域を対
象に広域分散型の都市形態を考慮しつつ、これまで十分に解明されてこな
かった河川工学・橋梁工学・地盤工学の境界領域が関与する橋梁被害、堤
防被害、農地被害に焦点を当て、それぞれの研究分野から融合的に現象解
明及び対策手法の立案を行います。



日時 平成 30 年 4 月 5 日(木)
15:00~17:30

会場 北見工業大学 3 号館
多目的講義室

内容

- 研究ユニットの研究内容発表と話題提供
- 15:05-15:25 河川系 (橋台背面の浸食の実験)
 - 15:25-15:45 地盤系 (橋台背面盛土の侵食対策に関する模型実験)
 - 15:45-16:05 地盤系 (ジオセルおよび排水パイプを併用した斜面安定工)
 - 16:05-16:25 地盤系 (積雪寒冷地における試験補強土壁の動態観測)
 - 16:40-17:00 構造系 (洗掘を受ける橋台の非線形構造解析)
 - 17:00-17:20 北見河川事務所 (最近の治水対策の傾向)



問い合わせ先

北見工業大学 研究協力課

TEL 0157-26-9152 / FAX 0157-26-9155

E-mail kenkyu03@desk.kitami-it.ac.jp

主催 北見工業大学複合型豪雨災害研究ユニット